

# 事業の概況

## ■ 経営環境等

J Aバンクを取り巻く環境は、組合員の高齢化・人口減少などによる経営基盤の縮小や燃料・原材料価格高騰による農業経営への多大な影響、金融当局の政策変更に伴う金融環境の急速な変化など、極めて厳しい状況にあります。

こうした情勢のもと、令和6年度は、中期経営計画（令和4年度～令和6年度）の最終年度として、基本戦略に掲げる「安定的収益還元機能の強化」、「J Aバンクえひめ本部機能の強化」の主要施策に取り組みました。

「安定的収益還元機能の強化」については、有価証券の計画的な投資に取り組むとともに、県内外企業および農業関連法人等の資金需要への対応により貸出残高確保に取り組みました。

「J Aバンクえひめ本部機能の強化」では、「農業の夢・ヒアリング訪問」の実施、農林中金や地元J Aと連携し経営課題の解決および農業所得の向上など担い手支援に努めるとともに、次世代との取引拡大に向けた各種キャンペーンの実施など、提案型セールスへの実践に取り組みました。

また、地域貢献活動としては、「第62回愛媛マラソン」などの地域イベントへ協賛するとともに、愛媛県が子どもや子育て世代の支援のために創設した「子どもの愛顔応援ファンド」に愛媛県産米と寄附金を寄贈し、寄贈米を活用した子ども食堂への支援活動などを続けております。

以上のような取り組みの結果、経常利益、当期剰余金ともに計画を上回る実績を収めることができました。

## ■ 業績

令和7年3月末の県内J A貯金残高は、前年対比629億円減少し1兆9,356億円となりました。

J A貸出金残高は、前年対比2億円減少し3,824億円となりました。

当会の資金調達では、令和7年3月末貯金残高は、前年対比910億円減少し1兆4,944億円となり、令和6年度期中平均残高は、前年対比817億円減少し1兆5,220億円となりました。

一方、資金運用では、預け金残高は、前年対比599億円減少し8,741億円となり、期中平均残高は、前年対比259億円減少し9,077億円となりました。

貸出金残高は、前年対比258億円減少し897億円となり、期中平均残高は、前年対比70億円減少し858億円となりました。

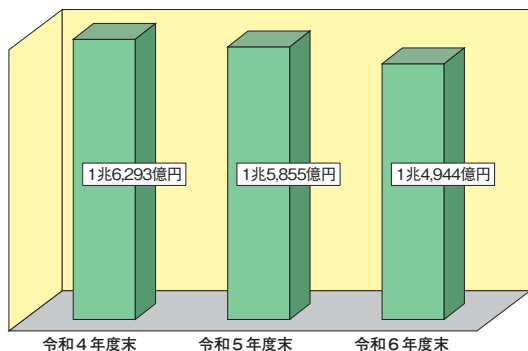
有価証券残高は、前年対比322億円減少し5,161億円となり、期中平均残高は、前年対比637億円減少し5,093億円となりました。

事業収支では、経常収益は169億5千9百万円、経常費用は134億1千5百万円となりました。この結果、経常利益は、前年対比4千6百万円減少し35億4千4百万円となりました。また、当期剰余金は、前年対比1億4千万円減少し29億5千万円となりました。

## 資金調達および資金供給の状況

### 信連の資金調達の状況

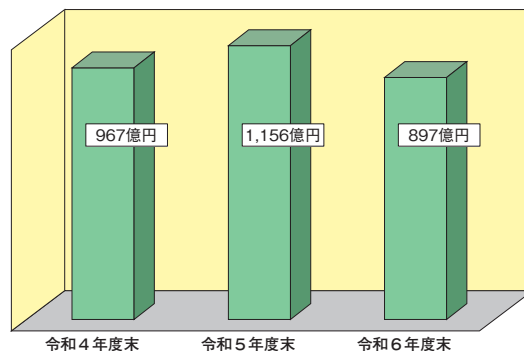
信連貯金等残高の推移



当会の貯金等の残高は、令和7年3月末現在 1兆4,944億円となり、前年対比910億円減少となりました。

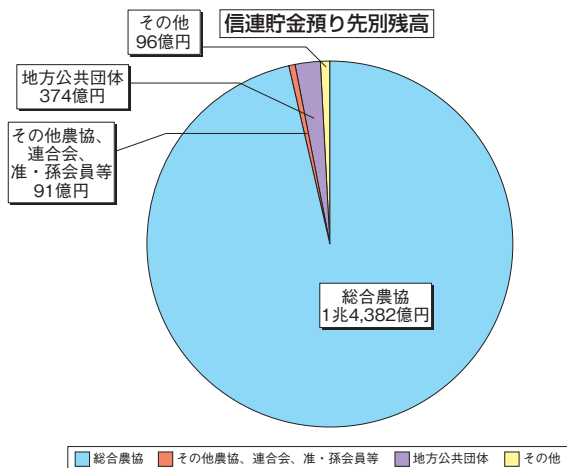
### 信連の貸出金の状況

信連貸出金残高の推移



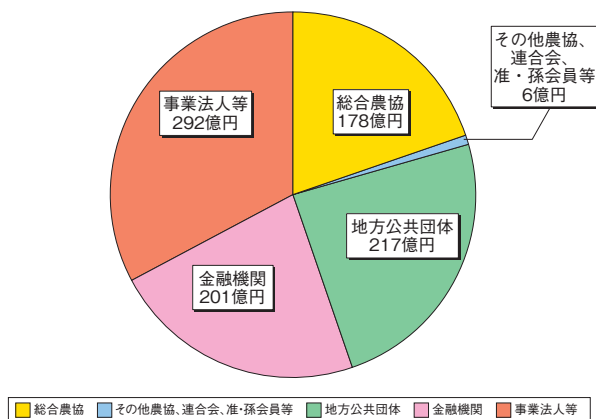
当会の貸出金の残高は、令和7年3月末現在897億円となり、前年対比258億円減少となりました。

信連貯金預り先別残高



当会の資金調達は主として総合農協（JA）からの貯金によるものであります。

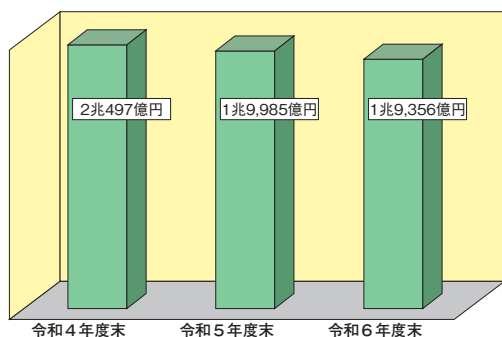
信連貸出先別貸出金残高



県内JAおよび当会にお預りしている貯金等を原資として、地域の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えするためにご融資を行っております。

### JAの資金調達の状況

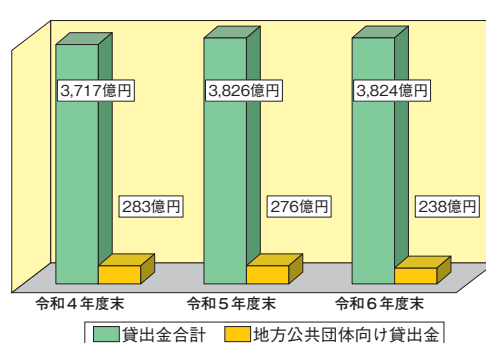
JAの貯金等残高の推移



JAが組合員をはじめ地域の皆さまからお預りしている貯金等の残高は、令和7年3月末現在1兆9,356億円となり、前年対比629億円減少となりました。

### JAの貸出金の状況

JAの貸出金残高の推移



JAは、お預りしている貯金等を原資として、組合員・地域の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えするためにご融資を行っております。  
令和7年3月末現在の貸出金残高は3,824億円、うち地方公共団体向け貸出金は238億円であります。